

飼料原料及びペットフード原料中の放射性セシウムに関するサーベイランス結果について (平成25年4月～平成30年6月)

平成25年4月から平成30年6月まで飼料原料及びペットフード原料中の放射性セシウム(放射性セシウム134と放射性セシウム137の合計量)について、ゲルマニウム半導体検出器により測定しました(定量下限: 10 Bq/kg)。

1,119点について測定した結果、平成25年度に米ぬか(生米ぬか:飼料用)で3点(13 Bq/kg、11 Bq/kg、10 Bq/kg)、定量下限以上検出されましたが、その他1,116点については全て定量下限未満でした。

(参考) 飼料の暫定許容値

牛用飼料	100 Bq/kg
豚用飼料	80 Bq/kg
鶏用飼料	160 Bq/kg
養殖魚用飼料	40 Bq/kg

(試料点数)

年度 試料の種類	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
チキンミール、フェザーミール	2	0	0	0	0	0	2
かつお節、しらす、いりこ、煮干	13	3	5	0	0	0	21
魚粉	172	102	96	59	44	7	480
魚油	23	24	27	21	14	3	112
フィッシュソリュブル	11	11	12	10	6	2	52
小麦粉、ふすま、末粉、大麦ぬか、麦芽、胚芽	112	42	20	15	15	0	204
米ぬか、米ぬか油かす、米粉	210	10	7	6	6	0	239
茶葉	2	1	1	1	1	0	6
その他	0	0	0	2	1	0	3
合計	545	193	168	114	87	12	1119

なお、飼料原料及びペットフード原料中の放射性セシウムに関するサーベイランスのための試料受付は平成30年6月末日をもって終了しました。